

AIS作成支援ツールの 改善点と方針

E C M 委 員 会
環境情報専門委員会

－ 目 次 －

1－1. AIS作成支援ツールの概要

1－2. AIS作成支援ツールの機能一覧

1－3. 詳細説明

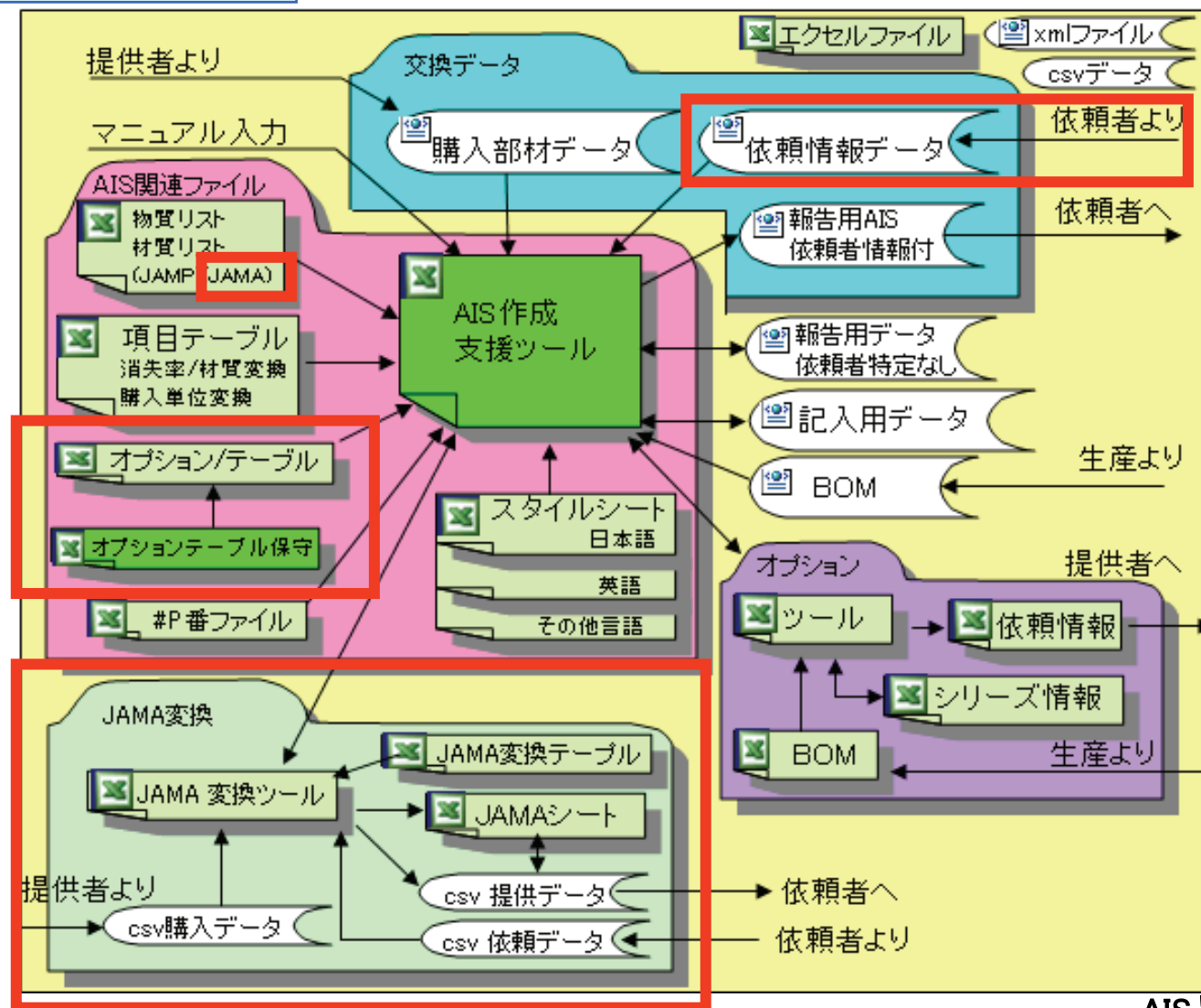
1－4. AIS作成支援ツールのバージョンアップ

2. 今後の運用と予定

1-1. AIS作成支援ツールの概要(1)

システム構成

変更、追加



※)項目はJAMP/AIS
委員会で決めたAIS仕
様に従って作成。

※)報告用AISのXML
ファイルはJEITA/ECセ
ンターで定めた仕様
(JAMP採用)に従って
作成。

AISとは:Article information sheetの略

1-1. AIS作成支援ツールの概要(2)

主な機能

赤字アンダーラインは今回変更追加

- 1) 物質、調剤から成形品xmlファイル作成、その基データとなる素材xmlファイル作成
- 2) 成形品xmlファイル、素材xmlファイルを組合わせる処理及び再組合わせ
- 3) 伝達すべき情報のみ抽出し処理
- 4) 階層表現の方式(電気・電子関係と自動車関係)
- 5) 自動車関係方式から電気・電子関係方式への変換
- 6) シリーズ品一括作成 7) 材質変換 8) 消失率の計算
- 9) 生産BOMの取り込みと未調査部品の管理
- 10) 依頼者側の依頼情報報告用xmlファイル作成
- 11) 提供者側の依頼者情報の依頼者品番チェックおよび提供品番検索セット
- 12) 提供者側の依頼者情報付き報告用xmlファイル作成と残管理
- 13) 購入品の単位と使用量の単位変換
- 14) ロック(提供情報と依頼情報)
- 15) 集計(成形品あたりの特定化学物質濃度情報(法令のみ、全て)、成形品中の材質情報)
- 16) xmlデータ読込(読込,初期値,依頼者情報,報告用変更読込,依頼情報読込)、保管
- 17) xmlデータは記入用と報告用(依頼者情報付き)を分けて管理
- 18) 報告用xmlデータの変更(部分と全面)
- 19) 企業間特別項目データ交換
- 20) JAMA変換

※ その他機能については1-2. AIS作成支援ツールの機能一覧を参照

1-2. AIS作成支援ツールの機能一覧(1)

網がけ赤太字アンダーラインは変更部です

機 能		説 明
シート	組成成分種別	素材、原部品、階層、複合化、部品表
選択	情報種別	AIS作成、初期値設定、依頼者情報設定、 依頼情報作成
素材の入力		素材、材質、物質情報を個別に選択して作成することができる。
	素材行の追加	行制御の素材セルをダブルクリックでその下に挿入される。
	材質行の追加	行制御の材質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	物質行の追加	行制御の物質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	削除	各要素の構成を削除する。行制御の削除をダブルクリックで該当構成すべてを削除する。
原部品 ¹⁾ の入力		部品、材質、物質情報を個別に選択して作成することができる。
	部品行の追加	行制御の部品セルをダブルクリックでその下に挿入される。階層行の部品セルは上に挿入される。
	材質行の追加	行制御の材質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	物質行の追加	行制御の物質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	削除	各要素の構成を削除する。行制御の削除をダブルクリックで該当構成すべてを削除する。
階層の入力		階層、部品、材質、物質情報を個別に選択して作成することができる。
	階層行の追加	行制御の階層セルをダブルクリックでその下に挿入される。複合行の階層セルは上に挿入される。
	部品行の追加	行制御の部品セルをダブルクリックでその下に挿入される。
	材質行の追加	行制御の材質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	物質行の追加	行制御の物質セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	削除	各要素の構成を削除する。行制御の削除をダブルクリックで該当構成すべてを削除する。
複合化		行の追加は出来ません。
部品表の入力		部品を個別に選択して作成することができる。
	部品行の追加	行制御の部品セルをダブルクリックでその下に挿入される。
	削除	行制御の削除をダブルクリックでその行を削除する。
リスト	物質リスト	物質リストより選択し物質名、CAS番号、法令区分の設定を行う。
	材質リスト(AIS)	材質リスト(AIS)より選択し材質名、材質分類番号の設定を行う。
	材質リスト(JAMA)	材質リスト(JAMA)より選択し表面処理、材質名、材料規格、材料コード、材料記号、VDA材料分類コードの設定を行う。
	AIS/JAMA変換リスト	AIS/JAMA変換リストよりVDA材料分類コード、除外コードの変換を行う。
	使用用途分類リスト	使用用途分類リストより選択し使用用途分類コードの設定を行う。
	オプションリスト	オプションリストより選択しオプションコード設定と提供者コードと依頼者コードの変換を行う。

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

1-2. AIS作成支援ツールの機能一覧(2)

網がけ赤字アンダーラインは
変更部です

機 能		説 明
保管 ファイルの 種類	材質変換テーブル	材質変換テーブルより材質変換前を変換後に置き換える。
	消失率テーブル	消失率テーブルより材質質量と物質質量を消失率分増減する。
	購入単位変換テーブル	購入単位と構成使用単位が異なる場合は購入単位に変換する。
		作成したAIS情報を一旦XMLファイルへ保存する。記入用保管と報告用がある。
	記入用	複合化した部品の購入先情報(会社名、品目番号、材質集計情報等)変換係数、員数等を保管するファイル。
	報告用	中抜き、積上げ、単純化、消失率の計算、材質変換、単位変換等の処理と依頼者情報(品目番号、会社名、担当者名等)を削除して保管するファイル。
	AIS	中抜きAISファイル(AISx)
読込	IMDS	積上げAISファイル(IMDx)
	初期値	初期値AISファイル(INIS) 報告用なし
	依頼者情報	依頼者情報AISファイル(REQT) 報告用なし
	記入用	一旦保存したxmlファイルをAISツールに読込む。
	報告用	提供者から入手したxmlファイルを読込む。変更不可(ただしシリーズ品依頼者型番とJIG備考は可)
複合	報告用変更読込	提供者から入手した報告用AISを記入用に変換して読込む。読込後の画面は変更可。 保管xmlファイル(+ wwwz_yyyymmdd_xxx_Change)
	依頼者情報読込	依頼者より依頼情報作成で作成したxmlデータを読込む。
	初期値設定	初期値として登録されているファイルのみ選択する。
	依頼者情報設定	依頼者情報初期値として登録されているファイルのみ選択する。
複合	依頼情報作成	依頼情報(依頼者品目番号等)を記述してxmlファイルを作成する。(wwwz_yyyymmdd_xxx_Reqester)
	複合処理	購入部品を製品BOMIに合わせて寄せ合わせる。(一品づつまたは複数指定あり)
	再複合処理	一旦複合化した部品情報を一部変更・追記された場合、再複合化する。(一括処理可)
	生産BOMと連携	生産BOMIに合わせて一括複合化する。
	新規	新規に生産BOMから入手した部品のみ複合化する。
	変更	新規に生産BOMから入手した部品の複合かと一旦複合化したものの再複合化する。
積上げ	依頼品目残管理	複合化の結果、複合化されなかったものが未調査部品として残る。
	積上げ	(複合)成型品の階層名及び原部品の階層名と員数をすべて記載する。 (自動車用途を想定し全階層情報を開示するもの)

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

1-2. AIS作成支援ツールの機能一覧(3)

網がけ赤太字アンダーラインは変更部です

機 能		説 明	
共通 報告 オプ ション	中抜き	単純化なし	最終成型品の階層と原部品の名称をのみ記載し、各階層の員数は累積で記載する。
		単純化あり	同上および『伝達すべき情報』の管理物質のみ記載する。
	積上げ→中抜き変換		積上げで複合処理したAISを中抜きに変換して報告用AISを作成する。
	中抜き積上げ変換		記入用中抜きを積上げで保管することが出来る。ただし三階層以上は三階層に集約される。
報告 オプ ション	依頼に対する回答作成		依頼者が記入用に依頼者情報(会社名、担当者名等)とシリーズ品情報(発行者型番と依頼者型番)を記入し、依頼情報として受け提供者が依頼者情報を含んだ報告用AISを作成する。
	未回答品目の残管理		上記処理で作成出来たものはシリーズ情報に“済”を表示する。ブランクのものは未回答(作成中)として管理する。
	消失率の計算		購入部材の含有化学物質には揮発性物質等が含まれている場合がある。製品使用時は揮発してなくなるため、予め消失率を登録して含有量を再計算する。
	材質変換		製造工程で化学反応して別物質に変化する製品は変換情報を予め登録して変換する。
	ファイルの結合		分割されているAISを一つのAISに統合する。
単位変換			購入品と製品の単位が長さから重さに変わる等単純換算できない場合、単位変換係数を事前登録することで、含有量を自動算出する。
報告用変更			原本、変更の選択を可とし、変更を選択すると特定項目の変更が可となる。 保管xmlファイル(+_xxxx_yyyymmdd_xxx_Change)
#P 番管	品目チェック		依頼者品目のチェックと依頼者型番から提供者型番の検索及び設定をする。
	#Pファイル選択		#Pファイルは依頼者単位に設定となっているため、依頼者によって切り替えを行う。
シリーズ品			シリーズ品基本情報からシリーズ品個別に報告AISを作成する。シリーズ品基本情報と類似した製品群が対象となるが以下の条件のものに対応している。
一括 作成	成分同一		1)製品質量と部位の質量がすべて同じ場合
	質量違い		2)製品質量のみ異なる場合
	部分共通		3)一部分異なるが、その他は同じ場合（報告オプションのファイルの結合で作成する）
製品分割管理			製品構成が複雑で大量の原部品情報を持っている製品はAISを分割作成し関連情報を記述できる。
シリーズ品と 製品分割	挿入		行制御の挿入セルをダブルクリックでその上に挿入される。
	追加		行制御の追加セルをダブルクリックでその下に挿入される。行数指定可
	削除		行制御の削除セルをダブルクリックでその行を削除する。範囲指定可
	依頼データのセット		依頼されたcsvファイルから依頼品目と品名を抽出しシリーズ品情報にセットする。

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

1-2. AIS作成支援ツールの機能一覧(4)

網がけ赤太字
アンダーラインは
変更部です

機 能		説 明
JAMA 変換	#Pチェック	依頼者型番で#Pファイルから提供者型番を検索しシリーズ品情報にセットする。
	依頼品目検索(JAMAへ 変換)	提供者型番でxmlファイルを検索し組成成分情報にセットする。(記入用を検索する)内容に不備がなければJAMAへ変換する。
	提供品目選択(JAMAへ 変換)	提供品目を選択(複数可)し組成成分情報にセットする。(記入用を検索する)内容に不備がなければJAMAへ変換する。
	JAMAへ変換	組成成分情報のAISをJAMA形式に変換し依頼されたcsvファイル又はJAMAシートにセットする。
	JAMAより変換	提供者より受けたJAMAデータ(csvファイル)をAIS形式に変換しxmlファイルを作成する。(記入用、報告用)と(中抜き、積上げ)の組合せで作成可
企業 間特 別項 目	項目設定	依頼者と項目及び値を予め企業間で取り決めたものを原部品作成時製品及び物質に設定する。依頼者と項目及び値はコード化してテーブルに登録する。
	項目照会	設定した項目と値のテーブルを照会する。
	報告用作成	依頼者特定の報告用作成時は特定依頼者の項目と値を抜き出して作成する。
	提供者から依頼者へ伝 達	中間企業は同じ内容でも提供者から入手した項目、値と依頼者へ報告する項目、値が異なる場合があり変換して報告用を作成する。変換値はテーブルに登録する。
ロック	回答者情報	回答者情報は変更できない。ファイル読み込み時に変更しない。
	依頼者情報	依頼者情報は変更できない。ファイル読み込み時に変更しない。
材質集計伝達		中抜き方式は材質を集計して伝達する。
集計表示		成形品あたりの特定化学物質濃度情報(法令対象のみ、 すべて)と成形品中の材質情報を集計する。
画面	折りたたみ	作業性を考慮し、組成成分情報、会社情報、成分分割情報の一部、又は全部を画面上非表示にする。
	リスト選択	均質材料、材質、物質はリストより選択出来る。材質、物質付帯情報は自動設定する。
	行制御	行のコピー、挿入(部品の追加)、追加(材質の追加)、移動、削除等ができる。(個別と範囲指定が可能)
	範囲指定コピー貼り付け	範囲指定コピー貼り付け時、貼り付け範囲に変更不可セルがある場合はメッセージを出し変更しない。
	範囲指定消去	範囲指定消去時、と削除範囲に変更不可セルがある場合はメッセージを出し消去しない。
複数ファイル選択		複合処理でファイル選択画面で複数のファイルを同時に選択する事ができる。
	Shift +	Shiftを押しながら選択は範囲指定。
	ctrl +	ctrlを押しながら選択は個別指定。
多言語対応		言語選択:タイトルと選択項目は、日本語、英語、中国語で表示できる。
チェック		項目チェックは一括チェックして表示し、エラー項目へカーソル移動する。
複数フォルダ		ファイルの出し入れは読み込み先、保管先、複合読み込み先、初期値の読み込み先、依頼者情報の読み込み先と別々のフォルダに対して指定可能である。フォルダのパスはそれぞれ保持する。

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

1－3. 詳細説明

- 1) 企業間特別項目の記述
- 2) AISシートとJAMAシート変換
- 3) 提供を受けたxmlファイルの修正

1-3. 詳細説明

1) 企業間特別項目の記述 - 1

AISの標準項目に無い項目は二社間で取り決め、一定のルールに従って記述する。
このことによって本ツールを使用して収集する限り共通に取り扱うことが出来る。

1) 一定のルールとは

- 項目番号と値番号を依頼者と提供者の二者間で決めたコードを使用する。
- 物質備考に記述する。本ツールではオプション項目を追加し物質備考に連結している。

2) 項目番号と値番号のリスト化

提供者側は複数の依頼者と項目番号、値番号を取り決めすることになるためリスト化しリストから選択する。

原部品作成者用のリスト

2 オプション選択 ツールへ戻るには何れかのセルをダブルクリックしてください。

選択	依頼企業名	依頼企業コード	短縮企業コード	依頼種別	依頼値	単	fixの値	提供種別	提供値	種別と値名およびその説明	備考
	現部品作成株式会社	0147654321000001									
1	uuu株式会社	0147111111000002	A	#1		1		A		要求1:値1	
				#1		1		B		要求1:値2	
				#1		1		C		要求1:値3	
1	vvv株式会社	0147111111000003	B	#a		1		x		要求3:値31	
						1				要求3:値32	

A社報告用

備考	on	
オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)		オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
#1_A		表示

B社報告用

備考	on	
オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)		オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
#a_x		表示

企業コード短縮

項目番号

値番号

A_#1_A , B_#a_x

A社要求1:値1 B社要求3:値31

A社又はB社の報告用

原部品記入用

備考	on	
オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)		オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
A_#1_A B_#a_x		表示

1-3. 詳細説明

1) 企業間特別項目の記述 -2

提供企業から入手したxmlファイルを複合し依頼者へ提供する場合は、項目番号と値番号を引継がなければならない。(項目、値共番号が変わる場合がある)

複合作成者用のリスト

依頼企業名	依頼企業コード	短縮企業コード	依頼種別	依頼値	単	fixの値	提供種別	提供値	種別と値名およびその説明	備考
uuu株式会社	0147111111000002									
xxx株式会社	0147111111000004	C	#1	1			#1	A	要求1:値1	
			#1		1		#1	B	要求1:値2	
			#1		1		#1	C	要求1:値3	
zzz株式会社	0147111111000006	E	#1	1			#a	x	要求3:値31	
			#1		1		#a	y	要求3:値32	

C社報告用

備考	on	
		オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)
		オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
#1_A	表示	表示
#1_x	表示	表示

E社報告用

#1_A
要求1:値1

C社の報告用

#1_A
要求1:値1

#1_x
要求3:値31

E社の報告用

#a_x
要求3:値31

※依頼値がblankの時は
提供値と同じ

原部品作成社
から入手

A社から入手

B社記入用複合化

備考	on	
		オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)
		オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
#a_x	表示	
#1_A	表示	

1-3. 詳細説明

1) 企業間特別項目の記述 -3

企業間特別項目と値の名称を参照できなければならない。

最終依頼者用のリスト

オプション明細表示

ツールへ戻るには何れかのセルをダブルクリックしてください。

提供者企業コード		依頼者企業コード		記入形式						
0147111111000002		0147111111000006		x-x						
		■ 報告用								
NO	依頼企業名	依頼企業コード	短縮企業コード	依頼種別	依頼値	単	fixの値	提供種別	提供値	種別と値名およびその説明
1								#1	x	要求3: 値31

E社報告用

備考	on
オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)	オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)
#1 x	表示

要求3:値31

最終依頼者は入手したxmlファイルの
項目番号と値番号の確認に使用する。

1－3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 － 1

目的

製品に含まれる化学物質の調査方法としてAIS、JAMA、JGPSSIシートが存在し、それぞれの管理団体が推奨している。しかしながら同じ様な情報を言葉（ツールの面）、データ形式等を替えて調査しているのが現状である。各シート間を相互交換出来れば川上企業は何れかのシートで作成して川下へ伝達することが可能となる。

AISシートはアーティクルマネジメント推進協議会が製品に含まれる化学物質の調査を行うためのシートです。
JAMAシートは自動車部品工業会が製品に含まれる化学物質の調査を行うためのシートです。
JGPSSIシートはグリーン調達調査共通化協議会が製品に含まれる化学物質の調査を行うためのシートです。

JAMAとAISとJGPSSIの違い

	JAMA	AIS	JGPSSI
物質の数	17,562 種CASno 共通1,014	5,234 種CASno	29物質群
材質分類の数	50 種 (1.1、2.1.1等)	100 種 (R111、S001等)	なし
物質の開示	100% (但し10%以内で その他可)	法規制物質のみ必須 その他は任意	物質群
除外報告	材質と物質で選択	JIGの備考に記述	物質群で選択
言語	英数のみ	英数全角可	英数全角可
部品の階層	全階層	二階層 (中抜き) ¹⁾	一階層のみ
川上-川下伝達	なし	複合あり	なし

¹⁾JEITA/AIS作成支援ツートでは(積重ね)で全階層を記述可能としている。

1－3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 －2

前提条件

- 1) すべての文字は半角英数値で記述しなければならない。
- 2) 材料あたりの化合物含有率の合計は、その他を含め100%でなければならない。ただし10%以内でその他物質を記述可。AIS(CASno=ブランク 物質名=others 任意報告物質=1)、JAMA(CASno=system 物質名= Misc., not to declare ノードID=9999)
- 3) 製品質量と材質質量の合計は5%以内の差でなければならない。単純化はしてはならない。
- 4) 階層レベルと部品レベルは製品直下を1として、その下層は順次+1でなければならない。
- 5) 使用用途分類はコードで記述しなければならない。

変換項目

- 1) シリーズ品情報(依頼者型番n)を納入部品番号に、発行者型番を納入部品名称に、成型品質量を納入部品質量に、会社情報の会社名は仕入れ先名に変換する。回答期限、回答日は変換日をセットする。メーカコード、仕入れ先コードはブランクをセットする。納入部品番号、回答期限、メーカコード、仕入れ先コードは依頼情報があればその情報を使用する。
- 2) 材質名はJAMAの材質名をAIS側で選択する。またはJAMAシートで選択する。
- 3) 物質名はCASnoからJAMAシートのチェックで変換する。
- 4) 除外コードはJIG(備考)の使用用途分類コードから変換テーブルで変換する。
- 5) 階層名、部品名、材質名の三列横並びを一行縦並びに変換する。
- 6) 1シート複数品目番号の依頼ありの時は、AISは一品一葉であるため合成変換をする。

1-3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 -3

AIS→JAMA変換手順

依頼データありの手順

1) 依頼データ取込み

依頼者から受取った依頼シート(csvファイル)を読み込む。

シリーズ品情報

注1:行は追加しても可。 注2:複数品名・シリーズ品名の記入も可。

シリーズ品番明細(発行者型番n)	報告単位質量	シリーズ品番明細(依頼者型番n)	#P-ファイル差替え
		XXXXXXXX	YYYYYYYY
		AAAAAAAA	BBBBBBBB

2) #P_チェック

依頼者型番から提供者型番を調査する。#Pファイルが必要。

シリーズ品情報

注1:行は追加しても可。 注2:複数品名・シリーズ品名の記入も可。

シリーズ品番明細(発行者型番n)	報告単位質量	シリーズ品番明細(依頼者型番n)	#P-ファイル差替え
4-2222cJAMA		XXXXXXXX	YYYYYYYY
4-2222bJAMA		AAAAAAAA	BBBBBBBB

3) 依頼品目検索(JAMAへ変換)

提供者型番でxml ファイルを検索し複合する。(複数選択可、中抜きは積上げに変換して置くこと)
依頼者型番に記述なしがある場合は一旦停止する。修正後 4)JAMAへ変化を実行する。

4) JAMAへ変換

複合した画面上のデータをJAMAへ変換し依頼シート(csvファイル)へ出力する。

シリーズ品情報

注1:行は追加しても可。 注2:複数品名・シリーズ品名の記入も可。

シリーズ品番明細(発行者型番n)	報告単位質量	シリーズ品番明細(依頼者型番n)	#P-ファイル差替え
4-2222bJAMA	83.59	AAAAAAAA	BBBBBBBB g
4-2222cJAMA	136.076	XXXXXXXX	YYYYYYYY g

5) JAMAシートに取込みチェックする。再度依頼シート(csvファイル)へ出力する。

6) 依頼シート(csvファイル)を依頼者へ送付する。

1-3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 - 4

AIS→JAMA変換手順

JAMA変換		読込オプション
依頼データ読込(csv)	1) 提供品目選択(JAMAへ変換)	報告用変更読込
#P_チェック	2) JAMAへ変換	依頼情報読込
依頼品目検索(JAMAへ変換)	JAMAより変換	

依頼データなしの手順

1) 提供品目選択(JAMAへ変換)

- ・提供品目を選択しその品目を複合する。(複数選択可、中抜きは**積上げ記入用**に変換して置く事)
- ・複合元ファイルのシリーズ品情報の依頼者型番に記述なしがある場合は一旦停止する。
依頼者型番に依頼者の品目番号を記述して、2)JAMAへ変換を実行する。
- ・複合元ファイルのシリーズ品情報の依頼者型番にすべて記述ありはJAMAへ変換を実行する。
よって、2)JAMAへ変換の実行は不要。

2) JAMAへ変換

複合化した画面上のデータをJAMAへ変換して依頼シート(csvファイル)へ出力する。

シリーズ品情報

注1:行は追加しても可。 注2:複数品名・シリーズ品名の記入も可。

シリーズ品番明細(発行者型番n)	報告単位質量	シリーズ品番明細(依頼者型番n)	#P-ファイル差替
MLK1 005S68NJT000	1	AAAAAAAAAA	mg
4-2222bJAMA	83.59	BBBBBBBBBB	g

3) JAMAシートに取込みチェックする。再度依頼シート(csvファイル)へ出力する。

4) 依頼シート(csvファイル)を依頼者へ送付する。

1-3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 -5

積上げ結果変換前

シリーズ品情報

注1:行は追加しても可。 注2:複数品名・シリーズ品名の記入も可。

シリーズ品番明細(発行者型番n)	報告単位質量	シリーズ品番明細(依頼者型番n)	#P-ファイル差替
MLK1 005S68NJT000	1	AAAAAAAAAAAA	mg
4-2222bJAMA	83.59	BBBBBBBBBBBB	g

階層レベル 部品レベル	製品			階層		部品		材質				報告物質				報告物質該当法令												備考	オプション設定 (ダブルクリックでリストより選択)	オプション表示 (ダブルクリックで明細を表示)			
	変換係数	員数	単位	名称	員数	名称	員数	材質用途	材質名称	材質分類記号	材質公称規格	材質質量	物質名	CAS番号	含有率(wt%)	質量	認可対象候補物質SVHC 備考	67/549/EEC CMR 1,2 備考	PBT 備考	76/769/EEC 備考	ELV 適用除外等 該当	RoHS 適用除外等 該当	GADSL 適用除外等 備考	JIG A, B表示 備考(ダブルクリックで使用用途分類リストより選択)	任意報告物質 該当	備考(適用除外コード)							
1	2	1	1	# 01%予)積層セラミックコイル,TDK株	1	セラミック素体	1	母材	セラミック	N720		706.1 μg	Aluminium oxide	1344-28-1	50.0%	353.1 μg																	
													Silicon dioxide	7631-86-9	30.0283%	211.999798 μg																	
													Strontium oxide	1314-11-0	19.9717%	141.000202 μg																	
2						電極	1	母材	その他の特殊金属(銀)	V412		202.1 μg	Silver	7440-22-4	100.0%	202.1 μg																	
2						電極のつき-1	1	6(表面処理系)のニッケルのつき		S002		37.1 μg	Nickel	7440-02-0	100.0%	37.1 μg					1				D	B	INi-J-0	Part contains nickel but will not h					
2						電極のつき-2	1	6(表面処理系)のメスめつき		S005		55.1 μg	Tin	7440-31-5	100.0%	55.1 μg																	
1		1	1	* Seramitsuku-b ddd,4-2222bJAMA, f																													
2		1	1			Sozal,??? MMSoz	2	Steel and iron mate	Steel 35A210 Steels /	R1 01	JISC2552	2.1 g	Barium-nitrate	10022-31-8	100.0%	2.1 g									D								
								nonferrous metals	Lithium/Other Lithium	V421	JAMAA4444	3.1 g	Barium-nitrate	10022-31-8	100.0%	3.1 g									D								
2						Electrode,??? Mli	1	nonferrous metals	Platinum/Platinum allo	V411	JAMAA4444	10.1 mg	Copper (metallic)	7440-50-8	100.0%	10.1 mg									D								
2	3	1	1	# Kamitepu,??? MMTape ?,MMTape	4	Mekisin	1	Modified organic ne	Felt,Woodyy,7.1	N711	ABSxx	200.1 mg	Cobalt sulfate he	10026-24-1	100.0%	200.1 mg									D								
						Teap	1	Thermoplastics	Plastics CEF (Unfilled)	F511	ISO1043	1.1 g	Copper (metallic)	7440-50-8	99.99%	999.9 mg									D								
								nonferrous metals	Electrolytic Palladium	V411	JAMAH4444	2.1 g	Cadmium nitrate	10022-68-1	0.01%	100.1 μg					1	1	P/D	A	CoD-RE-98								
													Cobalt sulfate he	10026-24-1	90.0%	1.8 g									D								
													Copper (metallic)	7440-50-8	10.0%	200.1 mg									D								
2		1	6	* piezo-electric (a),???,MMpiezo-ele																													
3						Atsudentai	1	Thermosetting res	Rubber AEM Others (R	N544	ISO1629	100.1 mg	Copper (metallic)	7440-50-8	100.0%	100.1 mg									D								
3	4			# Surface	1	Sozal	2	nonferrous metals	Platinum/Platinum allo	V411	JAMAA4444	2.1 g	Barium-nitrate	10022-31-8	100.0%	2.1 g									D								
								nonferrous metals	Cast Aluminium Alloy A	R211	JISH5202	3.1 g	(1,3-Dioxo-2H-b	118725-24-9	100.0%	3.1 g											1						
4						Denkiyohk	3	nonferrous metals	Electrolytic Palladium	V411	JAMAH4444	10.1 mg	Copper (metallic)	7440-50-8	100.0%	10.1 mg									D								

1-3. 詳細説明

2) AIS作成支援シートからJAMAシート変換 - 6

JAMAシートチェックの結果

納入部品			部品構成				構成材料				化合物				リサイクル		部工会オプション				構成材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品質量 [g/部品]	設計変更番号	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個]	構成部品質量B	表面処理識別	構成材料名称	材料質量 [g/構成部品]	材料規格	材料コード (金属・その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	化合物コード	化合物名称	化合物含有率	再生材料使用率 (%)	再生材料使用率 (%)	材質表示	リサイクルマーク	アブリケニシ	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考)	備考 (備考

1-3. 詳細説明

2) JAMAシートからAIS作成支援シートへ変換

JAMA→AIS変換手順

JAMA変換		読込オプション
依頼データ読込(csv)	提供品目選択(JAMAへ変換)	報告用変更読込
#P_チェック	JAMAへ変換	依頼情報読込
依頼品目検索(JAMAへ変換)	2) JAMAより変換	

1) 提供者から提供シート(csvファイル)を受ける。

2) JAMAより変換

提供シート(csvファイル)と出力フォルダを選択するとxmlファイルへ出力する。

変換条件設定

下記の設定条件によってxmlファイルを作成する。

記入用	報告用	積上げ	中抜き
☐		☐	
	☐	☐	
☐	☐	☐	
☐			☐
	☐		☐
☐	☐		☐

記入用を積上げで作成する
 報告用を積上げで作成する
 記入用と報告用を積上げで作成する
 記入用を中抜きで作成する
 報告用を中抜きで作成する
 記入用と報告用を中抜きで作成する

読込	保管	☐ 報告用保管	☒ 記入用保管
----	----	--------------------------------	---

■ 記入用	■ 積上げ	報告用変更	-	報告用のみ
-------	-------	-------	---	-------

共通オプション	シリーズ品保管	再複合	複合
☒ 積上→中抜 ☒ 積上げ ☐ 中抜き	☒ 成分同一 ☐ 質量違い ☐ 部分共通	再複合オプション	
☐ 単純化		☐ 再複合・新規 ☒ 再複合・更新	

1－3. 詳細説明

3) 提供を受けたxmlファイルの修正 － 1

提供を受けたxmlファイルは間違い修正または追記が必要な場合がある。

1) 依頼者責任で変更する項目

- ・依頼者型番：調査依頼する場合は依頼者型番を指定するが基本であるが、指定しない場合は「??」で提供される。したがって依頼側で修正が必要となる。
- ・JIG備考：JIG備考には使用用途分類コードを記述することになっているが、依頼者の使用条件によって決まることがあるため、依頼者側で記述できなければならない。

2) 個別項目変更

基本的には提供されたxmlファイルは変更出来ない。変更は提供元へ返却して再度提供するとしているが、時間的制約等で依頼側で修正することが必要となる。変更した場合は原本と区別するためファイル名に「Change」を付加して区別している。

但し、以下に示す項目のみとする。行の追加削除は出来ない。

材質質量、含有率、物質名、提供者会社ID、依頼者会社ID、階層名、部品名、材質名

3) 全面変更

変更の目的とファイル名の付け方は個別項目変更と同じである。変更したい報告用xmlファイルは記入用に置き換える。したがって依頼者が作成したものとなる、行の追加削除を含め全面的に変更可能となる。

1-4. AIS作成支援ツールのバージョンアップ

JEITA ECセンターのHPより
ダウンロード可能

(V.6.4 12月末公開予定)

<http://ec.jeita.or.jp/jp>

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

ダウンロードファイルは以下10点です。

1) jAISTS-Tool_Vr7_1_090106_ja	変更
2) jAIS#L-List-2_01_Vr3_2_090106_ja	変更
3) jAIS#B-Table_Vr2_2_090106_ja	変更
4) jAIS#P-List_Vr1_2_090516_ja	変更
5) jAIS#O-List_option_Vr1_1_091006_ja	新規
6) jAIS#D-Disp_option_Vr1_1_091006_ja	新規
7) jAISAO-Tool_OptionMentnas_Vr1_1_091006_ja	新規
8) jAISAD-programDispOption_Vr1_1_091006_ja	新規
9) jAIS#J-TableJAMAsheetChange_Vr1_1_090415_ja	新規
10) jAISJA-programJAMAsheetChange_Vr1_1_090815_ja	新規

※)上記ファイルはZIPファイルに格納されているため解凍してください。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ (1) 手順

以下は既存のセットを入替えてください。

・ツール (jAISTS-Tool_Vr6_4_090106_ja)

ツールは(AISTS-Tool_Vr6_3m_090106_ja)以前を新ツールに差替えてください。ツールにデータセットしたまま保管している場合は、一旦xmlファイルに出力して新ツールへ読み込んでください。xmlデータの互換性は問題なく移行できます。

・物質リスト (jAIS#L-List-2_01_Vr3_2_090106_ja)

物質リストはファイル名のみ変更しました。そのまま差替えて使用してください。

・テーブル (jAIS#B-Table_Vr2_2_090106_ja)

旧テーブル(AISTB-Table_Vr2_1_090106_ja)にデータセットしている場合は新テーブルへ切り替える必要があります。シート全体を「コピー」して新テーブルへ「貼り付け」で移行してください。

・#Pファイル (jAIS#P-List_Vr1_2_090516_ja)

旧#Pファイル(AIS#P-List_Vr1_1b_090516_ja)以前にデータセットしている場合は新テーブルへ切り替える必要があります。旧ファイルの5行目以降を行「コピー」して新ファイルの5行目に「挿入」の「コピーしたセル」で移行してください。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ (2) 手順

以下は既存のセットに追加してください。

- ・オプションテーブル (jAIS#O-List_option_Vr1_1_091006_ja)

このファイルは新規ファイルです。企業間特別項目を交換する時に使用します。
オプションテーブルです。保守ファイルを使用して作成してください。

- ・オプションテーブル表示 (jAIS#D-Disp_option_Vr1_1_091006_ja)

このファイルは新規ファイルです。企業間特別項目を交換する時に使用します。
オプション情報を表示する画面です。変更不可です。

- ・オプション表示処理 (jAISAD-programDispOption_Vr1_1_091006_ja)

このファイルは新規ファイルです。企業間特別項目を交換する時に使用します。
オプション情報の表示を処理します。変更不可です。

- ・オプションテーブル変更処理 (jAISAO-Tool_OptionMentnas_Vr1_1_091006_ja)

このファイルは新規ファイルです。企業間特別項目を交換する時に使用します。
オプションテーブルの保守をします。変更不可です。

- ・JAMA変換テーブル (jAIS#J-TableJAMAsheetChange_Vr1_1_090415_ja)

このファイルは新規ファイルです。JAMA変換する時に使用します。変更不可です。

- ・JAMA変換プログラム (jAISJA-programJAMAsheetChange_Vr1_1_090815_ja)

このファイルは新規ファイルです。AIS作成支援ツールから指示を受けて起動します。
AISからJAMAへ、JAMAからAISへデータ変換します。変更不可です。

※)以上で使用可能状態になります。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(1) 変更の要点

1) 半角カタカナチェック追加(実証実験要求事項)

下記項目にチェックを追加した。入力時は入力禁止とし、チェック処理時エラー一覧表示とした。

- ・提供会社名・発行部門名・発行部門住所・作成部門名・追加情報・製造者会社名・発行者備考・複数品名
- ・シリーズ品名・引用文献・制約事項・注意事項など・階層名・部品名・依頼会社名・依頼部門名
- ・依頼部門担当者氏名・依頼部門住所・依頼者備考1 2 3。 **不具合の解消**

2) 空タグの処理(実証実験要求事項)

- ・単位付き数値の空タグは単位のサフィックスがkg="k" g=" " mg="m" であるためgと変換されてしまう。
空タグの場合は変換しない(ブランク)とした。 **不具合の解消**
- ・空タグを読取ると、次に現れるプロパティのコンテンツがセットされ、次に現れるプロパティはブランクとなる。
不具合の解消
- ・空タグで複数行読込んだシリーズ品情報の二行目以降ブランクのチェック。

3) 法令欄の任意物質情報がxmlファイルへ出力されない(実証実験要求事項)

管理用、報告用とも出力されない。すでに報告済みのものは再提出が必要である。 **不具合の解消**

4) 大量データの読込制限の廃止

配列をバッファにした読込方式から直接セル読込方式に変更した。配列はセルへの書込みに時間が遅いため使用したが、画面遷移をロックしたため、セルへの書込みが早くなったため不要となった。 **不具合の解消**

5) 報告用のチェックの強化

JEITA/AIS作成支援ツールで作成した報告用AISは殆ど画面上でチェックされているため、必須項目と組成成分構成不良等のみチェックしているが、川上から受けたAISはすべての項目をチェックするとした。

6) 材質変換と消失率計算のxmlファイル

材質変換と消失率計算のxmlファイルの成型品の質量は変化した分調整するとなっているが、処理後の画面は対応しているがxmlファイルは対応していないため対応した。 **不具合の解消**

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(2) 変更の要点

7) 画面チェックの強化

- ・組成成分領域を変更した時の桁数チェック追加する。
- ・含有率は%で小数点以下6桁以上はエラーとする。
- ・法令コメントは法令コード設定以外記述不可とする。
- ・複合化された法令コードとコメントは変更不可であるが、JIG備考の法令コード設定ありは可とする。
これは製品使用条件によって適用除外が決まる場合があるため。
- ・物質備考は物質クラスに属しているため、物質名に記述がある時のみ記述可とする。

8) 材質変換と消失率計算のxmlファイル

材質変換と消失率計算のxmlファイルの成型品の質量は変化した分調整するとなっているが、処理後の画面は対応しているがxmlファイルは対応していないため対応した。**不具合解消**

9) エラーチェックのエラーありのxmlファイル作成の有無

エラーありは出力不可から警告は出すがxmlファイルは作成する。報告用は受取側で変更可能とした。

10) 処理スピートの改善

マクロ実行で画面遷移の表示をしない。処理スピードの改善

11) 使用用途分類のリスト選択

JIG備考を利用して使用用途分類コードをリストよりセットする。

12) 不要ファイルの削除(実証実験要求事項)

- ・単純化および原部品から複合または複合から原部品に変更になった時ファイル名が変更になるが、旧ファイルは削除する。
- ・報告用データを読み込むとAIS_Tempファイルが自動生成される。処理後削除する。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(3) 変更の要点

13) BtoB個別項目交換

川下-川上間のみでデータ交換する項目の追加した。項目番号と内容をBtoB間で設定しテーブルに登録する。記入用ではテーブルから選択してオプション欄にセットする。報告用作成は川下企業を指定しその企業の情報のみ伝達する。川上から入手した項目番号と川下へ伝達する項目番号が異なる場合は変換するとした。

14) 質量と単位の最適化

質量の単位がkg,g,mgであるため、極小数値はセル幅オーバーとなる。計算結果または受取データを変更すること無く、表示のみ μ g,ng,pgで表示可とした。 μ g,ng,pgで入力したデータは報告用AIS出力時mgに変換して伝達するとした。

15) 質量単位選択方法変更(製品、材質、物質)

質量と単位の最適化に伴い単位選択をダブルクリックからプルダウンに変更した。物質は含有率で計算し最適化するため選択なしとした。

16) 報告用データの作成ツールバージョンチェック(報告用読み込みのみ)

- ・データ作成側の作成ツールと受取側の作成ツールのバージョンが異なる時は読取り時メッセージを表示または赤または青塗潰しで表示するとした。

赤は提供側のツールが旧の時点灯する。青は受取側のツールが旧の時点灯する。

旧バージョンを読んだときは、提供者へツールのバージョンアップを促すメッセージを出す。

新バージョンを読んだときは、自身のツールのバージョンアップを促すメッセージを出す。

- ・メッセージは次回表示有無の選択あり。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(4) 変更の要点

17) Execlのバージョンによってxmlデータ形式の番号が異なる

Execl2003 読込=5(XMLファイル) 書込=2(XMLスプレッドシート) バージョン=11.0

Execl2007 読込=5(XMLデータ) 書込=5(XMLデータ) バージョン=12.0

であるため、Execl2007で書込時常に再選択が必要であった。バージョンによって上記番号を初期設定し、読込時または書込時に選択不要とした。変更した場合はその番号を記憶するとした。

18) シリーズ品情報

- ・報告用AISの依頼者型番は提供者型番が記入ありの時変更可となっているが、記入なしの時は空白を可とした。
- ・「依頼による回答作成」の時、報告用AISが存在し報告用AISを作成した時はシリーズ品情報から削除するとしていたが”済”と表示し削除しないとした。次回処理時、“済”は処理しない。再処理する時は空白にして実行することが出来る。

19) 管理用と報告用の読込フォルダの選択

通常は記入用と報告用フォルダは同じフォルダを指しているが、分離も可能である。分離した場合の読込みは一方のフォルダのみ指すことになる。記入用、報告用を交互に読み込む場合、常にフォルダ選択が必要になる。保管オプションの報告用保管と記入用保管を利用して切り替えるとした。

報告用保管 記入用保管 = 報告用フォルダ

報告用保管 レ 記入用保管 = 記入用フォルダ

レ 報告用保管 記入用保管 = 報告用フォルダ

レ 報告用保管 レ 記入用保管 = 記入用フォルダ

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(5) 変更の要点

20) 報告用変更

川上から受けたAISに不具合があり再提出依頼しては川下の要求に間に合わない時使用する。変更したAISは原本とは別名を付けて保管する。(Changeを付加する)

変更可能項目

材質質量、含有率、JIG備考、物質名、提供者会社ID、依頼者会社ID、階層名、部品名、材質名

21) 報告用変更読込

報告用変更読込ボタン追加、報告用AISを記入用として読込む、自由に変更可とする。保管時は記入用、報告用共ファイル名に” Change”を付加する。

22) 中抜きから積上げ変更

保管共通オプションで中抜きから積上げに変更して保管することがとできる。ただし三階層以上は三階層に集約される。

23) ダブルクリックをボタン化

#P_check、#P-file-Cselectionsをボタン化した。

24) 範囲指定のコピー及び削除の解禁

範囲指定のコピーと削除は変更不可項目の検出方法が見当たらないため不可としていた。検出方法が判明したので可とした。

25) 物質集計選択子追加

すべての物質(CASnoブランクはxxxとして)を集計するか、法令対象物質のみ集計するか選択可能とした。

1-4. AIS作成支援ツールバージョンアップ

(6) 変更の要点

26) 依頼情報交換の正規化

- ・依頼者はシート種別に「依頼情報作成」を追加した。「依頼情報作成」を選択してシリーズ品情報に依頼者品番と提供者品番(不明であれば不要)をセットして保管する。報告用(REQT_XXX)ファイルが作成されこのファイルを提供者へ渡す。
- ・提供者は報告用(REQT_XXX)ファイルを「依頼情報読込」ボタンで読込み(管理用として読込む)、「依頼に対する回答作成」で保管する。依頼情報付の報告用データ作成と残管理を行うことができる。

27) 関連ファイル名の変更

- ・AIS作成支援ツール(AISLS-Tool_XXX) から(jAISTS-Tool_XXX) に変更。
- ・物質リスト(AISBL-List_XXX) から(jAIS#L-List_XXX) に変更。旧ファイルは使用不可
- ・項目テーブル(AISTB-Table_XXX) から(jAIS#B-Table_XXX) に変更。旧ファイルは使用不可
- ・#P番(AIS#P-List_XXX) から(jAIS#P-List_XXX) に変更。旧ファイルは使用不可

28) 本体とデータ部分離

AIS作成支援ツールと物質リスト、項目テーブル、#P番検索関係で物質リスト、項目テーブル、#P番側のロジックが変更になると新バージョンが発行されデータの入れ替え作業が発生する。

- ・物質リスト(jAIS#L-List_XXX) のロジックはAIS作成支援ツールへ移動しデータのみとした。
- ・項目テーブル(jAIS#B-Table_XXX) のロジックはAIS作成支援ツールへ移動しデータのみとした。
- ・#P番(jAIS#P-List_XXX) のロジックはAIS作成支援ツールへ移動しデータのみとした。
- ・スタイルシート(jAISST-sheet_XXX) はロジックそのままデータを(jAIS#T-Data_XXX) へ移動

29) Excel2007検証

Ver6.4公開時点で、動作することを確認済。

2. 今後の運用と予定（1）

2. 1 AIS作成支援ツールの維持管理について

- ・2009年12月末に公開するV6. 4以降はJEITAオプション機能の追加開発は凍結します。
- ・支援ツールの仕様及びソースは、機能の充実と普及促進のため事業展開を目指すベンダーなどに公開する事を検討しております。
(JEITA／ECセンター会員企業からの要望は、委員会で討議し、年一回見直しを検討します。)
- ・標準化対象
 - －環境辞書標準
 - －JAMP／AISツール
 - －JAMAシート
 - －物質リスト(SVHCリスト)

2. 今後の運用と予定（2）

2.2 今後の予定

	改訂項目	改訂要因	11月	12月	2010/1月	2月	3月	4月
支援ツール作成	ツール変更	不具合修正			日本語版 V6.4リリース		英語・中国語版 V6.4リリース	
	仕様変更	JAMP調整事項・実験結果要望						
	JAMA変換ツール連携	JAMAフォーマット変換組込み						
変換ツール	変換ツール開発	JAMAフォーマット変換						日、中、英語 版V7.0 リリース
ガイドブック	取扱説明書	言語対応（英・中）						
	操作説明書	言語対応（英・中）						
	導入説明書	言語対応（英・中）						
	エラーメッセージ説明書	実証実験結果要望						
シス 標準 テム	辞書改訂	JGPSSI/V4.0			日本語版 V.6.4リリース			
	メッセージ辞書	エージェントメッセージの辞書化						

2. 今後の運用と予定（3）

2. 3 AIS作成支援ツールのダウンロード状況

- ・ダウンロード・アクセス件数 : 560件
- ・ダウンロード人数 : 433名
- ・ダウンロード社数 : 336社

2009年11月17日現在

・ ご清聴ありがとうございました